

1990年 大会記録

国際

ボディブニー国際大会 = 男子グレコローマン (1月26~28日、ソ連・ロストフ)

48kg 級 大橋正教 (ユナイテッドスティール) = 4位、佐々木昌常 (自衛隊) = 3位、
蝦名康一 (自衛隊) = 6位、 52kg 級 西見健吉 (自衛隊) = 5位、中森昭平 (警視庁)
= 二失、清水光二 (日体大) = 二失、 57kg 級 藤岡道三 (日体大) = 5位、花原大介 (日
体大) = 6位、 62kg 級 西口茂樹 (日体大助) = 5位、出口泰三 (和歌山県教委) = 二
失、 68kg 級 今村浩之 (日体大) = 4位、 74kg 級 伊藤広道 (自衛隊) = 二失、 90kg
級 森山泰年 (自衛隊) = 5位

ダウン国際大会 = 男子フリースタイル (2月8~11日、イラン・テヘラン)

48kg 級 小林孝至 (ユナイテッドスティール) = 二棄、 52kg 級 笹山秀雄 (自衛隊)
= 二失、藤村和人 (日大) = 二失、 57kg 級 金浜良 (ユナイテッドスティール) = 4位、
角地山豊 (警視庁) = 3位、 62kg 級 奥山恵二 (日体大) = 三棄、安達巧 (日体大研)
= 三失、 68kg 級 赤石光生 (ユナイテッドスティール) = 3位、 90kg 級 太田章 (早
大助) = 四失、 90kg 級 赤石明雄 (東山梨教育事務所) = 二失

マラル・カップ = 男子グレコローマン (2月9~11日、スウェーデン・ベステラス)

48kg 級 大橋正教 (ユナイテッドスティール) = 3位、佐々木昌常 (自衛隊) = 4位、
蝦名康一 (自衛隊) = 9位、 52kg 級 西見健吉 (自衛隊) = 三失、中森昭平 (警視庁)
= 8位、清水光二 (日体大) = 二失、 57kg 級 藤岡道三 (日体大) = 6位、花原大介 (日
体大) = 7位、 62kg 級 西口茂樹 (日体大助) = 9位、出口泰三 (和歌山県教委) = 三
失、 68kg 級 今村浩之 (日体大) = 9位、 74kg 級 伊藤広道 (自衛隊) = 9位、 90kg
級 森山泰年 (自衛隊) = 3位

ヤシャ・ドク国際大会 = 男子フリースタイル (2月17~18日、トルコ・イスタンブール)

52kg 級 藤村和人 (日大) = 6位、 57kg 級 金浜良 (ユナイテッドスティール) =
6位、角地山豊 (警視庁) = 5位、 62kg 級 奥山恵二 (日体大) = 三失、安達巧 (日体
大研) = 優勝、 68kg 級 赤石光生 (ユナイテッドスティール) = 優勝、 90kg 級 太田
章 (早大助) = 一棄、 90kg 級 赤石明雄 (東山梨教育事務所) = 五失

ニコラ・ペトロフ国際大会 = 男子グレコローマン (2月16~18日、ブルガリア・バル)

ナ)

48kg 級 大橋正教(ユナイテッドスティーラ) = 二失、佐々木昌常(自衛隊) = 三失、
蝦名康一(自衛隊) = 四失、 52kg 級 西見健吉(自衛隊) = 5 位、中森昭平(警視庁)
= 四失、清水光二(日体大) = 二失、 57kg 級 藤岡道三(日体大) = 三失、花原大介(日
体大) = 二失、 62kg 級 西口茂樹(日体大助) = 5 位、出口泰三(和歌山県教委) = 四
失、 68kg 級 今村浩之(日体大) = 二失、 74kg 級 伊藤広道(自衛隊) = 三失、 90kg
級 森山泰年(自衛隊) = 4 位

メドベジ国際大会 = 男子フリースタイル(3月2~4日、ソ連・ミンスク)

48kg 級 小林孝至(ユナイテッドスティーラ) = 三失、 52kg 級 笹山秀雄(自衛隊)
= 二失、藤村和人(日大) = 6 位、 57kg 級 金浜良(ユナイテッドスティーラ) = 二失、
角地山豊(警視庁) = 二失、 62kg 級 奥山恵二(日体大) = 三失、安達巧(日体大研)
= 四失、 68kg 級 赤石光生(ユナイテッドスティーラ) = 一棄、 90kg 級 太田章(早
大助) = 三失、 90kg 級 赤石明雄(東山梨教育事務所) = 二失

コンコード国際大会 = 男子グレコローマン(5月26~27日、米国・コンコード)

48kg 級 森下浩(日体大) = 5 位、 52kg 級 池崎友和(自衛隊) = 5 位、 57kg 級
藤岡道三(日体大) = 二失、 62kg 級 林雄一(日体大) = 三失、 68kg 級 三宅靖志(東
海商船) = 三失、 74kg 級 川井孝人(石川県教委) = 4 位、 82kg 級 井勢智則(日体
大) = 三失、 90kg 級 山口孝二(自衛隊) = 三失、 130kg 級 奈良英則(警視庁) = 二
失

北京国際大会(6月12~13日、中国・北京)

《男子フリースタイル》 48kg 級 平野孝喜(山梨学院大) = 6 位、 52kg 級 笹山秀
雄(自衛隊) = 優勝、 57kg 級 金浜良(ユナイテッドスティーラ) = 優勝、 62kg 級 中
井直也(同志社大) = 4 位、 82kg 級 石沢常光(早大) = 2 位、 130kg 級 小幡弘之(警
視庁) = 4 位

《男子グレコローマン》 48kg 級 大橋正教(ユナイテッドスティーラ) = 2 位、 52kg
級 西見健吉(自衛隊) = 2 位、 57kg 級 深水真司(日体大) = 3 位、 68kg 級 大久
保康裕(自衛隊) = 2 位、 74kg 級 湯浅邦茂(山梨・甲府養護学教) = 3 位

US国際トーナメント = 男子フリースタイル(6月22~23日、米国・タンパ)

48kg 級 若松正(東洋大) = 4 位、山下忍(日体大) = 7 位、 52kg 級 下村保伸(国
士館大) = 二失、清水一成(日体大) = 5 位、 57kg 級 山下勝(国士館大) = 二失、佐
藤貢(日体大) = 8 位、 62kg 級 鈴木信行(日体大) = 二失、松田昌明(国士館大) =

二失、 68kg 級 太田拓弥 (日体大) = 8 位、吉本収 (国土館大) = 7 位、 74kg 級 浦田義慎 (日体大) = 四失、 82kg 級 石沢常光 (早大) = 三失

カナダ・カップ=男子フリースタイル(6月30日~7月1日、)

48kg 級 若松正 (東洋大) = 4 位、山下忍 (日体大) = 二失、 52kg 級 下村保伸 (国土館大) = 二失、清水一成 (日体大) = 2 位、 57kg 級 山下勝 (国土館大) = 3 位、佐藤貢 (日体大) = 三失、 62kg 級 鈴木信行 (日体大) = 二失、松田昌明 (国土館大) = 三失、 68kg 級 太田拓弥 (日体大) = 二失、吉本収 (国土館大) = 6 位、 74kg 級 浦田義慎 (日体大) = 二失、 82kg 級 石沢常光 (早大) = 3 位

世界選手権=女子(6月29日~7月1日、スウェーデン・ルレア)

44kg 級 吉村祥子 (代々木ク) = 優勝、 47kg 級 田中真由美 (日女体大) = 4 位、
50kg 級 福原邦子 (朝日住建日体ク) = 5 位、 53kg 級 遠藤美子 (東洋大) = 2 位、
57kg 級 坂本涼子 (中京女大) = 3 位、 61kg 級 星川君枝 (ユナイテッドスティール) = 2 位、
65kg 級 飯島晶子 (朝日住建日体ク) = 優勝、 70kg 級 岩間利香 (ユナイテッドスティール) = 優勝、 75kg 級 浦野弥生 (日体大) = 優勝

世界カデット選手権(7月、ハンガリー)

《男子フリースタイル》 40kg 級 山本徳郁 (神奈川・桐蔭学園中) = 6 位、 43kg 級 長尾勇氣 (宮崎・南郷渡川中) = 7 位、 47kg 級 山本尚通 (千葉・木間ヶ瀬中) = 8 位、
51kg 級 伊藤克佳 (北海道・旭川東陽中) = 棄権、 55kg 級 水井雅史 (東京・京北学園中) = 二失、
60kg 級 宮田和幸 (茨城・水戸五中) = 三失、 65kg 級 高橋正樹 (千葉・木間ヶ瀬中) = 二失、
70kg 級 青木拓哉 (青森・八戸三中) = 二失、 76kg 級 小倉哲志 (愛媛・松山久米中) = 二失、
83kg 級 今村雄介 (群馬・太田西城中) = 二失、
95kg 級 山野内大二郎 (茨城・水戸二中) = 二失

グレコローマンは出場せず

エスポワール・ワールドカップ=男子フリースタイル(7月20~21日、カナダ・プリンスアルバート)

6 位 (5 敗)

- 1 回戦 日本 [4 - 6] カナダ
- 2 回戦 日本 [2 - 8] キューバ
- 3 回戦 日本 [0 - 10] ソ連
- 4 回戦 日本 [3 - 7] 米国
- 5 回戦 日本 [2 - 8] イラン

《個人順位》 48kg 級 中島税(大東大) = 4 位、 52kg 級 朝比奈巖(日体大) = 4 位、 57kg 級 入江格(国士舘大) = 5 位、 62kg 級 中石義洋(日体大) = 3 位、 68kg 級 吉本収(国士舘大) = 6 位、 74kg 級 荻田剛志(早大) = 5 位、 82kg 級 和田敏行(日体大) = 5 位、 90kg 級 藤田和之(日大) = 6 位、 100kg 級 岩淵利則(国士舘大) = 6 位、 130kg 級 近藤博和(国士舘大) = 5 位

グッドウイル大会 = 男子フリースタイル(7月27~28日、米国・シアトル) = リーグ戦形式

48kg 級 平野孝喜(山梨学院大) = 1 勝 4 敗、 52kg 級 笹山秀雄(自衛隊) = 2 勝 3 敗、 57kg 級 朝倉利夫(国士舘大教) = 4 位、 62kg 級 安達巧(日体大助) = 3 位、 68kg 級 赤石光生(ユナイテッドスティール) = 3 位、 74kg 級 原喜彦(新潟・新潟北高教) = 2 勝 3 敗、 82kg 級 菊地隆(和歌山県教委) = 1 勝 4 敗、 90kg 級 赤石明雄(長田玉夫商会) = 2 敗 3 棄権、 100kg 級 中西学(和歌山県教委) = 5 敗、 130kg 級 本田多聞(自衛隊) = 1 勝 4 敗

チェコ国際大会 = 男子グレコローマン(7月27~29日、チェコ・プレビザ)

48kg 級 蝦名康一(自衛隊) = 優勝、 52kg 級 中森昭平(警視庁) = 5 位、 57kg 級 深水真司(日体大) = 4 位、 68kg 級 森巧(自衛隊) = 5 位、 74kg 級 伊藤広道(自衛隊) = 7 位、 82kg 級 小林希(群馬・中之条高教) = 三失、 90kg 級 森山泰年(自衛隊) = 三失、 100kg 級 近藤務(自衛隊) = 二失、 130kg 級 奈良英則(警視庁) = 二失

世界ジュニア選手権 = 男子フリースタイル(7月27~29日、トルコ・イスタンブール)

46kg 級 下戸正行(京都・網野高) = 三失、 50kg 級 佐藤謙二(国士舘大) = 三失、 54kg 級 石島勇次(山梨学院大) = 二失、 58kg 級 井上威(中大) = 8 位、 63kg 級 谷山康隆(国士舘大) = 10 位、 68kg 級 小柴健二(日体大) = 8 位、 74kg 級 佐藤大(中大) = 一棄、 81kg 級 高木章夫(徳島・穴吹高) = 二失、 88kg 級 風見勝利(東洋大) = 二失、 115kg 級 水倉元(新潟・巻農高) = 6 位

世界ジュニア選手権 = 男子グレコローマン(、イスラエル・テリアビブ)

《男子グレコローマン優勝者》 46kg 級 綿引豊(宮崎・宮崎工高) = 二失、 50kg 級 田村英司(徳島・貞光工高) = 二失、 54kg 級 西島隆(日体大) = 9 位、 58kg 級 高橋朋雄(山形・東根工高) = 二失、 63kg 級 坂上桂一(日体大) = 6 位、 68kg 級 西條倫史(東農大) = 三失、 74kg 級 西岡健二郎(徳島・池田高) = 三失、 81kg 級 市場弘一(大阪・同志社香里高) = 二失、 88kg 級 浪越裕次(青山学院大) = 二失、 115kg

級 水倉元（新潟・巻農高）= 二失

世界選手権 = 男子フリースタイル（9月6～9日、東京体育館）

48kg 級 小林孝至（ユナイテッドスティーラ）= 3 位、 52kg 級 高田裕司（山梨学院大教）= 8 位、 57kg 級 朝倉利夫（国士館大教）= 二失、 62kg 級 安達巧（日体大助）= 4 位、 68kg 級 赤石光生（ユナイテッドスティーラ）= 4 位、 74kg 級 原喜彦（新潟・新潟北高教）= 7 位、 82kg 級 菊地隆（和歌山県教委）= 四失、 90kg 級 赤石明雄（東山梨教育事務所）= 三失、 100kg 級 中西学（和歌山県教委）= 10 位、 130kg 級 本田多聞（自衛隊）= 二失

アジア大会（9月23日～10月4日、中国・北京）

《男子フリースタイル》 48kg 級 山下忍（日体大）= 6 位、 52kg 級 笹山秀雄（自衛隊）= 2 位、 57kg 級 朝倉利夫（国士館大教）= 4 位、 62kg 級 安達巧（日体大助）= 優勝、 68kg 級 赤石光生（ユナイテッドスティーラ）= 5 位、 74kg 級 原喜彦（新潟・新潟北高教）= 4 位、 82kg 級 菊地隆（和歌山県教委）= 5 位、 90kg 級 赤石明雄（東山梨教育事務所）= 4 位、 100kg 級 中西学（和歌山県教委）= 4 位、 130kg 級 本田多聞（自衛隊）= 4 位

《男子グレコローマン》 48kg 級 蝦名康一（自衛隊）= 二失、 52kg 級 中森昭平（警視庁）= 4 位、 57kg 級 藤岡道三（日体大）= 二失、 62kg 級 西口茂樹（日体大助）= 優勝、 68kg 級 森巧（自衛隊）= 3 位、 74kg 級 伊藤広道（自衛隊）= 2 位、 82kg 級 小林希（群馬・中之条高教）= 5 位、 90kg 級 森山泰年（自衛隊）= 3 位、 100kg 級 近藤務（自衛隊）= 5 位、 130kg 級 奈良英則（警視庁）= 3 位

世界選手権 = 男子グレコローマン（11月19～20日、イタリア・ローマ）

48kg 級 蝦名康一（自衛隊）= 3 位、 52kg 級 中森昭平（警視庁）= 6 位、 57kg 級 藤岡道三（日体大）= 4 位、 62kg 級 西口茂樹（日体大助）= 6 位、 68kg 級 森巧（自衛隊）= 10 位、 74kg 級 伊藤広道（自衛隊）= 四失、 82kg 級 小林希（群馬・中之条高教）= 三失、 90kg 級 森山泰年（自衛隊）= 四失、 100kg 級 = 派遣なし、 130kg 級 奈良英則（警視庁）= 四失

サンキストカップ = 女子（11月22日、米国・フェニックス）

44kg 級 吉村祥子（スポーツ東急）= 優勝、 47kg 級 山本美憂（朝日住建日体クラブ）= 優勝、 田中真由美（日女体大）= 3 位、 50kg 級 福原邦子（朝日住建日体ク）= 2 位、 53kg 級 東陽子（朝日住建日体クラブ）= 4 位、 57kg 級 川崎明美（自衛隊）= 優勝、 61kg 級 星川君枝（ユナイテッドスティーラ）= 2 位、 65kg 級 飯島晶子（朝

日住建日体ク) = 2位、 70kg級 浦野弥生(日体大) = 優勝

ハパラダ国際大会 = 男子グレコローマン(12月14~16日、スウェーデン・ハパラダ)

48kg級 加藤欣央(東海大) = 4位、大橋正教(ユナイテッドスティール) = 2位、
52kg級 西見健吉(自衛隊) = 3位、 57kg級 花原大介(日体大) = 二失、 74kg級
森太郎(奈良・広陵高教) = 二失

エラント国際大会 = 男子グレコローマン(12月、フィンランド・エラント)

48kg級 加藤欣央(東海大) = 2位、大橋正教(ユナイテッドスティール) = 3位、
52kg級 西見健吉(自衛隊) = 優勝、 57kg級 花原大介(日体大) = 三失、 74kg級
森太郎(奈良・広陵高教) = 棄権

国内

全国高校選抜大会(3月29~30日、新潟・新潟市体育館)

《学校対抗戦》[1]茨城・霞ヶ浦(3年連続3度目)、[2]岐阜・岐阜工、[3]埼玉・埼玉栄、宮城・東北電子工

《個人戦優勝者》 46kg級 針谷豊(群馬・西邑楽)、 50kg級 島田昭一(鹿児島・鹿児島商工)、
54kg級 星政宏(岩手・宮古商)、 58kg級 橋本雄次(茨城・霞ヶ浦)、
63kg級 日比清二(岐阜・岐阜工)、 68kg級 大竹克矢(岐阜・岐阜工)、 74kg級
有賀浩樹(岐阜・岐阜工)、 115kg級 高柳雄志(岐阜・岐阜工)

全日本ジュニア選手権(4月2~5日、東京・駒沢体育館)

《男子フリースタイル優勝者》 46kg級 針谷豊(群馬・西邑楽高)、 50kg級 佐藤謙二(国士館大)、
54kg級 佐藤公一(秋田・秋田経法大付高)、 58kg級 井上威(中大)、
63kg級 谷山康隆(国士館大)、 68kg級 小柴健二(日体大)、 74kg級 佐藤大(中大)、
81kg級 高木章夫(徳島・穴吹高)、 88kg級 風見勝利(東洋大)、
115kg級 水倉元(新潟・巻農高)

《男子グレコローマン優勝者》 46kg級 綿引豊(宮崎・宮崎工高)、 50kg級 田村英司(徳島・貞光工高)、
54kg級 西島隆(日体大)、 58kg級 高橋朋雄(山形・東根工高)、
63kg級 坂上桂一(日体大)、 68kg級 西條倫史(東農大)、 74kg級 佐藤大(中大)、
81kg級 高木章夫(徳島・穴吹高)、 88kg級 浪越裕次(青山学院大)、
115kg級 水倉元(新潟・巻農高)

全日本選手権（4月27～29日、東京・駒沢体育館、東京・代々木競技場第2体育館）

《男子フリースタイル優勝者》 48kg級 小林孝至（ユナイテッドスティーラ）、 52kg級 高田裕司（山梨学院大教）、 57kg級 朝倉利夫（国土館大教）、 62kg級 安達巧（日体大助）、 68kg級 赤石光生（ユナイテッドスティーラ）、 74kg級 原喜彦（新潟・新潟北高教）、 82kg級 菊地隆（和歌山県教委）、 90kg級 赤石明雄（東山梨教育事務所）、 100kg級 中西学（和歌山県教委）、 130kg級 本田多聞（自衛隊）

《男子グレコローマン優勝者》 48kg級 蝦名康一（自衛隊）、 52kg級 中森昭平（警視庁）、 57kg級 藤岡道三（日体大）、 62kg級 西口茂樹（日体大助）、 68kg級 森巧（自衛隊）、 74kg級 伊藤広道（自衛隊）、 82kg級 小林希（群馬・中之条高教）、 90kg級 森山泰年（自衛隊）、 100kg級 近藤務（自衛隊）、 130kg級 奈良英則（警視庁）

西日本学生春季新人戦 = 男子フリースタイル（4月30日、大阪・桃山学院大）

《優勝者》 48kg級 田中康也（福岡大）、 52kg級 田中晃（近大）、 57kg級 赤瀬功（同志社大）、 62kg級 工藤誠之（徳山大）、 68kg級 高田和拓（徳山大）、 74kg級 奥田真二（同志社大）、 82kg級 神鷹和昭（桃山学院大）、 90kg級 大西輝（近大）、 130kg級 野崎賢治（近大）

フリースタイルのみ

東日本学生リーグ戦（5月23～26日、東京・駒沢体育館）

《順位》[1]日体大（12年連続14度目）、[2]国土大、[3]早大、[4]日大、[5]中大、[6]東洋大、[7]専大、[8]大東大

西日本学生選手権（5月15～17日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《男子フリースタイル優勝者》 48kg級 土屋忠彦（福岡大）、 52kg級 奥田雅彦（福岡大）、 57kg級 嶋也幸（徳山大）、 62kg級 中井直也（同志社大）、 68kg級 高田和拓（徳山大）、 74kg級 岡田孝志（近大）、 82kg級 宮崎隆光（桃山学院大）、 90kg級 安楽純二（同志社大）、 130kg級 末雄次（徳山大）

《男子グレコローマン優勝者》 48kg級 池田徹（福岡大）、 52kg級 小泉円（同志社大）、 57kg級 赤瀬功（同志社大）、 62kg級 中井直也（同志社大）、 68kg級 高田和拓（徳山大）、 74kg級 岡田孝志（近大）、 82kg級 宮崎隆光（桃山学院大）、 90kg級 大西博（近大）、 130kg級 永淵智東（福岡大）

エスポワール・ワールドカップ予選 = 男子フリースタイル(6月9日、専大、東洋大)

《優勝者》 48kg級 中島税(大東大)、 52kg級 朝比奈巖(日体大)、 57kg級 入江格(国士館大)、 62kg級 中石義洋(日体大)、 68kg級 吉本収(国士館大)、 74kg級 荻田剛志(早大)、 82kg級 和田敏行(日体大)、 90kg級 藤田和之(日大)、 100kg級 岩淵利則(国士館大)、 130kg級 近藤博和(国士館大)

西日本学生春季リーグ戦(6月30日~7月1日、大阪・大阪府立体育会館別館)

《順位》[1]同志社大(7季連続15度目)、[2]福岡大、[3]徳山大、[4]近大、[5]桃山学院大、[6]名商大

全日本女子選手権(5月27日、東京・スポーツ会館)

《優勝者》 44kg級 吉村祥子(代々木ク)、 47kg級 山本美憂(朝日住建日体ク)、 50kg級 福原邦子(朝日住建日体ク)、 53kg級 遠藤美子(東洋大)、 57kg級 坂本涼子(中京女大)、 61kg級 星川君枝(ユナイテッドスティール)、 65kg級 飯島晶子(朝日住建日体ク)、 70kg級 岩間利香(ユナイテッドスティール)、 75kg級 船越光子(栃木・壬生高)、 75kg以上級 上野弘子(盛岡大)

東日本学生春季新人戦(6月14~16日、東京・駒沢体育館)

《男子フリースタイル優勝者》 48kg級 中島税(大東大)、 52kg級 石島勇次(山梨学院大)、 57kg級 松野繁(明大)、 62kg級 中石義洋(日体大)、 68kg級 宮本健二(日体大)、 74kg級 中島智彦(中大)、 82kg級 和田敏行(日体大)、 90kg級 岩淵利則(国士館大)、 90kg以上級 藤田和之(日大)

《男子グレコローマン優勝者》 48kg級 川田征勝(中大)、 52kg級 窪木浩(明大)、 57kg級 入江格(国士館大)、 62kg級 林雄一(日体大)、 68kg級 堀北和久(日体大)、 74kg級 横山秀和(日体大)、 82kg級 戸部徹(日体大)、 90kg級 岩淵利則(国士館大)、 90kg以上級 浜上稔(日体大)

全日本社会人選手権(6月16~17日、東京・スポーツ会館)

《団体戦優勝チーム》 実業団 ユナイテッドスティールA、 クラブ 香川クラブ

《男子フリースタイル優勝者》 48kg級 丸山祐司(自衛隊)、 52kg級 坂木勇夫(長崎県警)、 57kg級 花田秀実(自衛隊)、 62kg級 佐々木一郎(香川県ク)、 68kg級 吉田実(自衛隊)、 74kg級 角崎朋博(67ク)、 82kg級 伊藤敦(京都ク)、 90kg級 田崎光之(自衛隊)、 100kg級 水橋徹(千葉県協会)、 130kg級 奈良英則(警視庁)

《男子グレコローマン優勝者》 48kg級 丸山祐司(自衛隊)、 52kg級 池崎友和(自衛隊)、 57kg級 福崎道大(自衛隊)、 62kg級 元木康年(自衛隊)、 68kg級 木村好男(警視庁)、 74kg級 三宅靖志(東海商船)、 82kg級 得本啓次(福岡ク)、 90kg級 田崎光之(自衛隊)、 100kg級 福辺雅彦(奈良県協会)、 130kg級 神子沢健一(自衛隊)

インターハイ(8月1~4日、宮城・名取市民体育館)

《学校対抗戦》[1]茨城・霞ヶ浦(2年ぶり4回目)、[2]岐阜・岐阜工、[3]埼玉・埼玉栄、宮城・東北電子工

《個人戦優勝者》 46kg級 針谷豊(群馬・西邑楽)、 50kg級 勝目力也(静岡・沼津学園)、 54kg級 星政宏(岩手・宮古商)、 58kg級 長友一美(宮崎・宮崎一)、 63kg級 森田俊男(茨城・霞ヶ浦)、 68kg級 平野晴美(茨城・霞ヶ浦)、 74kg級 小野瀬哲也(茨城・霞ヶ浦)、 115kg級 新明嘉規(千葉・八千代松陰)

全国高校生グレコローマン選手権(8月17~19日、東京・駒沢体育館)

《優勝者》 46kg級 佐伯豊(茨城・日立一)、 50kg級 田村栄司(徳島・貞光工)、 54kg級 成田広希(岐阜・岐阜工)、 58kg級 大川卓治(群馬・西邑楽)、 63kg級 後藤誠一(秋田・秋田商)、 68kg級 日比野清二(岐阜・岐阜工)、 74kg級 有賀浩樹(岐阜・岐阜工)、 81kg級 高木章夫(徳島・穴吹)、 87kg級 吉田幸司(奈良・添上)、 115kg級 高柳雄志(岐阜・岐阜工)

全日本学生選手権(8月29~9月1日、山梨・山梨学院大)

《男子フリースタイル優勝者》 48kg級 山下忍(日体大)、 52kg級 水野将嘉(早大)、 57kg級 佐藤貢(日体大)、 62kg級 奥山恵二(日体大)、 68kg級 太田拓弥(日体大)、 74kg級 大久保啓光(国士舘大)、 82kg級 石沢常光(早大)、 90kg級 藤田和之(日大)、 100kg級 野々村孝(山梨学院大)、 130kg級 小幡弘之(日大)

《男子グレコローマン優勝者》 48kg級 坂村智紀(東農大)、 52kg級 清水光二(日体大)、 57kg級 花原大介(日体大)、 62kg級 栗本秀樹(日体大)、 68kg級 今村浩之(日体大)、 74kg級 植村久弥(日体大)、 82kg級 佐々木秀幸(日体大)、 90kg級 浅井努(日体大)、 100kg級 野々村孝(山梨学院大)、 130kg級 鈴木賢一(大東大)

西日本学生新人戦（9月15～16日、大阪・桃山学院大）

《男子フリースタイル優勝者》 48kg級 板谷和雄（近大）、 52kg級 吉岡和輝（近大）、 57kg級 岩下政敬（近大）、 62kg級 中島泰生（桃山学院大）、 68kg級 成瀬実（桃山学院大）、 74kg級 藤原教雄（近大）、 82kg級 川村嘉裕（同志社大）、 90kg級 野崎賢治（近大）、 130kg級 大西博（近代）

《男子グレコローマン優勝者》 48kg級 板谷和雄（近大）、 52kg級 田中晃（近大）、 57kg級 岩下政敬（近大）、 62kg級 池田展久（桃山学院大）、 68kg級 戸島孝行（近大）、 74kg級 神鷹和昭（桃山学院大）、 82kg級 川村嘉裕（同志社大）、 90kg級 野崎賢治（近大）、 130kg級 高岸一郎（同志社大）

全日本学生王座決定戦（9月27～28日、東京・駒沢体育館） = 決勝成績

日体大 [5 - 4] 日大

日体大は2年ぶり13度目の優勝

国体（10月22～25日、福岡・北九州国際大）

《成年フリースタイル優勝者》 48kg級 喜多龍昭（長崎・島原工高教）、 52kg級 水野将嘉（神奈川・早大）、 57kg級 佐々木 一郎（香川・県スポーツ事業団）、 62kg級 中井直也（京都・同志社大）、 68kg級 太田拓弥（茨城・日体大）、 74kg級 原喜彦（新潟・新潟北高教）、 82kg級 樋口直巳（三重・桑名工高教）、 90kg級 赤石明雄（山梨・長田玉夫商会）、 100kg級 中西学（和歌山・県教育庁）、 130kg級 鋤崎太（福岡・ローム福岡）

《成年グレコローマン優勝者》 48kg級 加藤欣央（石川・東海大）、 52kg級 西見健吉（埼玉・自衛隊）、 57kg級 花原大介（茨城・日体大）、 62kg級 大城利幸（沖縄・丸輝産業）、 68kg級 木村好男（東京・警視庁）、 74kg級 湯浅邦茂（山梨・甲府養護学教）、 82kg級 屋比久保（沖縄・北中城高教）、 90kg級 東出徹（奈良・高取高教）、 100kg級 野々村孝（岐阜・山梨学院大）、 130kg級 出口一也（和歌山・県立体育館）

《少年フリースタイル優勝者》 46kg級 田村茂一（青森・青森商）、 50kg級 中林拓真（北海道・岩見沢農）、 54kg級 佐藤公一（秋田・秋田経法大付）、 58kg級 高橋淳（秋田・秋田経法大付）、 63kg級 原敬（宮崎・宮崎工）、 68kg級 平野晴美（茨城・霞ヶ浦）、 74kg級 小野瀬哲也（茨城・霞ヶ浦）、 81kg級 高木章夫（徳島・穴吹）、 88kg級 吉田幸司（奈良・添上）、 115kg級 滝口徹（山形・東根工）

《少年グレコローマン優勝者》 46kg 級 佐伯豊（茨城・日立一）、 50kg 級 田村栄二（徳島・貞光工）、 54kg 級 吉成雄一（千葉・野田北）、 58kg 級 中谷康栄（富山・高岡一）、 63kg 級 細貝健一（新潟・巻農）、 68kg 級 星野好宣（埼玉・埼玉栄）、 74kg 級 友寄隆康（沖縄・那覇西）、 81kg 級 権瓶広光（新潟・東京学館新潟）、 88kg 級 北村和幸（茨城・土浦日大）、 115kg 級 高柳雄志（岐阜・岐阜工）

全日本大学選手権（11月10～11日、石川・志賀町総合体育館）

《優勝者》 48kg 級 山下忍（日体大）、 52kg 級 清水一成（日体大）、 57kg 級 山下勝（国土館大）、 62kg 級 鈴木信行（日体大）、 68kg 級 太田拓弥（日体大）、 74kg 級 荻田剛志（早大）、 82kg 級 笹原洋一郎（日体大）、 90kg 級 浅井努（日体大）、 100kg 級 なし＝決勝が両者負け、 130kg 級 なし＝決勝が両者負け

《大学対抗得点》[1] 日体大（6年連続13度目）、[2] 国土館大、[3] 日大

東日本学生秋季新人戦（11月15～17日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》 48kg 級 川田征勝（中大）、 52kg 級 窪木浩（明大）、 57kg 級 入江格（国土館大）、 62kg 級 小倉偉延（専大）、 68kg 級 小柴健二（日体大）、 74kg 級 横山秀和（日体大）、 82kg 級 藤江泰久（山梨学院大）、 90kg 級 和田敏行（日体大）、 90kg 以上級 浜上稔（日体大）

《男子グレコローマン優勝者》 48kg 級 嘉戸洋（国土館大）、 52kg 級 西島隆（日体大）、 57kg 級 尾白賢治（日体大）、 62kg 級 栗本秀樹（日体大）、 68kg 級 林雄一（日体大）、 74kg 級 荻田剛志（早大）、 82kg 級 横山秀和（日体大）、 90kg 級 戸部徹（日体大）、 90kg 以上級 河村勝（日体大）

全国社会人オープン選手権（11月24～25日、神奈川・横浜消防訓練センター）

《男子フリースタイル優勝者》 48kg 級 丸山祐司（自衛隊）、 52kg 級 丹治尚弘（愛隣会目黒恵国寮）、 57kg 級 花田秀実（自衛隊）、 62kg 級 栄和人（京樽）、 68kg 級 藤田隆和（国土館クラブ）、 74kg 級 杉野浩吉（自衛隊）、 82kg 級 関場輝史（鶴見クラブ）、 90kg 級 石庭新五（アイシン精機）、 100kg 級 山口孝二（自衛隊）、 130kg 級 神子沢健一（自衛隊）

《男子グレコローマン優勝者》 48kg 級 = 参加なし、 52kg 級 佐々木昌常（自衛隊）、 57kg 級 西見健吉（自衛隊）、 62kg 級 奥屋敷賢彦（自衛隊）、 68kg 級 安楽清一（海上自衛隊）、 74kg 級 三宅靖志（東海商船）、 82kg 級 渡部秀隆（自衛隊）、 90kg 級 石庭新五（アイシン精機）、 100kg 級 山口孝二（自衛隊）、 130kg 級 神子沢健

一（自衛隊）

西日本学生秋季リーグ戦（12月1日～12月2日、大阪・大阪府立体育会館別館）

《順位》[1]福岡大（8季ぶり14度目）、[2]同志社大、[3]徳山大、[4]近大、[5]桃山学院大、[6]関大

全日本大学グレコローマン選手権（12月10～11日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》 48kg級 嘉戸洋（国土館大）、 52kg級 清水光二（日体大）、 57kg級 深水真司（日体大）、 62kg級 市口勇志（日大）、 68kg級 今村浩之（日体大）、 74kg級 木村成明（拓大）、 82kg級 金永烽（日大）、 90kg級 浅井努（日体大）、 100kg級 野々村孝（山梨学院大）、 130kg級 小幡弘之（日大）

《大学対抗得点》[1]日体大（2年連続2度目）、[2]国土館大、[3]日大

全日本女子オープン選手権（12月23日、東京・青少年総合センター）

《優勝者》 44kg級 上林美穂（羽島市連盟）、 48kg級 山本美憂（朝日住建ク）、 50kg級 福原邦子（京樽）、 53kg級 木村こず恵（東洋大倶楽部）、 57kg級 坂本涼子（吹田市民教室）、 61kg級 星川君枝（ユナイテッドスティール）、 65kg級 飯島晶子（京樽）、 70kg級 浦野弥生（日体大）、 75kg級 船越光子（栃木・壬生高）、 75kg以上級 上野弘子（盛岡大）